

平成31年3月7日

足立区立伊興小学校  
学校長 井上龍夫 様

足立区立伊興小学校 開かれた学校づくり協議会  
会長 黒川 浩

## 平成30年度 学校関係者評価書

### 1. 自己評価書全般について

重点目標とその実現に向けた取組、課題解決の方法等、大変分かりやすくまとめられている。特に重点的な取組事項の基礎学力の定着と学力向上については、一人一人の児童の興味・関心や習熟度に合わせ、きめ細かい取組を展開していることが読み取れた。また、体力向上と食育についても、年間を通して計画的に取組を行っていた。外部講師の積極的な活用、課外活動等、学校としての改善や工夫が伝わった。幼保小中連携についても、より関係が深まるように授業研究を中心とした取組を強化しており、今後の成果が大いに期待できるところである。

### 2. 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

学校では、学力や体力の向上のため、区の調査等をもとに様々な対応策を考えているが、新学習指導要領実施に示された目標の達成を目指し、児童一人一人がより積極的に考え、学ぶ姿勢を身に付けられるよう、保護者や地域との連携や協働を強め、家庭や地域の教育力を整備し学校を支援する体制をどう組織していくか、今後もさらに検討していく必要がある。

児童の学力向上を進める中で、授業力向上を目指し、学校行事の精選が必要となるが、児童・保護者、地域の希望や願いを踏まえつつも適切に進めていく必要がある。

校内環境の整備については、協議会が中心となり、地域・保護者とともに様々な事業を進めてきたところであるが、新校舎、新校庭完成の特長を最大限に生かしつつ、児童が学習しやすい環境づくりを念頭にさらに工夫・改善に努めていく必要がある。

### 3. その他

学校を取り巻く状況が大きく変わってきている中で、本協議会においては、児童の学力ならびに体力向上・健全育成を目指して様々な取組を行い、課題解決のため、支援を続けてきた。一方、足立区においても若い教員が増加し、学校運営や人材育成の面で新たな課題が生じている。本校でも、地域や他校、関係団体と連携した教育活動の推進に協議会としてどう関わっていくか、学校のあり方も含め活発に意見交換を行い、今後、具体策を提示していきたいと考える。